



動物の親子の愛とぎすな―動物の飼育から―

〔サロン・あへの〕10月の出会い

前日の雨がすつきりと上がり、爽やかな秋空になった10月18日

(土)午後1時〜4時、育徳コミュニティセンター2階・研修室において、青野久雄さん(大阪市立天王寺動物園・職員)をお迎えして

「動物の親子の愛とぎすな」について動物の飼育者としての立場からお話を伺いました。(写真3頁)

天王寺動物園の歴史と役割

天王寺動物園は大正4年(1915年)1月に上野・京都に次いで日本で3番目に開園。市民の娯楽の場として親しまれました。動物も見せるだけでなく娯楽性を持たせたショーを鑑賞しても

らうようにしました。戦前、チンパンジーのリタ嬢にテーブルマナーや竹馬などの芸事を教えて演技をさせました。

また、これが本来の動物を見せるという姿ではないという考え方が時代と共に移ってゆきました。そして、野生動物の種の保存や環境教育に貢献する新しい動物園のあり方を確立するためZOO21計画が発案されました。平成7年(1995年)には

爬虫類生態館「アイファア」が開館されました。その後もカバ舎・サイ舎・アフリカサバンナゾ

ン草食動物エリア・アジアの熱帯雨林ゾーン(ゾウ舎・平成18年9月にアフリカサバンナゾーン肉食動物エリアができて、これでアフリカサバンナゾーンが

全面完成しました。今は動物園でその動物の自然な生息地に近い状態の環境作りを勧めています。

野生動植物の国際取引の規制を輸出国と輸入国とが協力して実施することにより、採取・捕獲を抑制して絶滅のおそれのある野生動植物の保護をはかることを目的とするワシントン条約によつて動物の取引が制約されています。今の動物のほとんどは、動物園間の交換制度を利用して手に入れています。

現在は豊かな設備と環境整備された園内ですが、この動物園にも悲しい歴史もあります。第2次世界大戦終盤ころには、爆撃で動物の檻が破壊されて猛獣が逃げ出したりすれば、人命に関わる大事になるということでライオンやチーター、白熊など次々と薬殺が進められました。時代を反映して、動物の呼び名もライオンは獅子、サルやチン

パンジーは赤猩猩、ペリカンは常ニ危険を考慮した行動を心がけています。

伽藍鳥などと漢字で書かれました。戦後の動物園はアヒルや鶏、孔雀、豚など家畜園になっていました。昭和25年(1950年)4月、タイからゾウの春子がやってきました。春子は今も健在で60歳の還暦を迎えました。長生きしている春子は平和の象徴といえます。

動物とのきずな

天王寺動物園は大阪市内のほぼ中心にあり、東には天王寺美術館、西には通天閣が見える場所に位置しています。街の中に広さ11ヘクタールの動物園があるというのは、珍しいです。園内にはおよそ230種、1000点の動物を飼育しています。動物との接触は、毎日の住居舎の清掃と食事の時にありますが、

常に危険を考慮した行動を心がけています。

子どもは頃より手塩にかけて育てても成長する中で、本来の野生味は現れてきます。動物が親近感を持ってじやれたり、体をこすり付けにきてても、相手は力の強い腕力を持っていたり、ゾウのように体重が重い動物は人間の力ではその親愛の行為を受け止めることができませんので、ある程度の距離を保ちながら接していません。最近の動物は生息地から捕獲してこるのが禁止されているので、動物園間の動物交換交流をしたり、パンダのように借りたりしています。野生の動物は乳離れが始まると、親離れ子離れをして自分たちの領域を守ることになります。動物園でも近親相姦を防ぐ意味もあり、成長した場合は転居先を探します。

動物園の動物は、限られた場所

で管理された食事を与えられ、健康には細心の注意がはらわれる毎日を過しています。その健康の目安として1番大切なことは、毎日排泄される糞の状態を見ることです。糞がいつもと違う状態であれば、その動物の体調に異変が生じていると考え健康状態を観察します。この時が

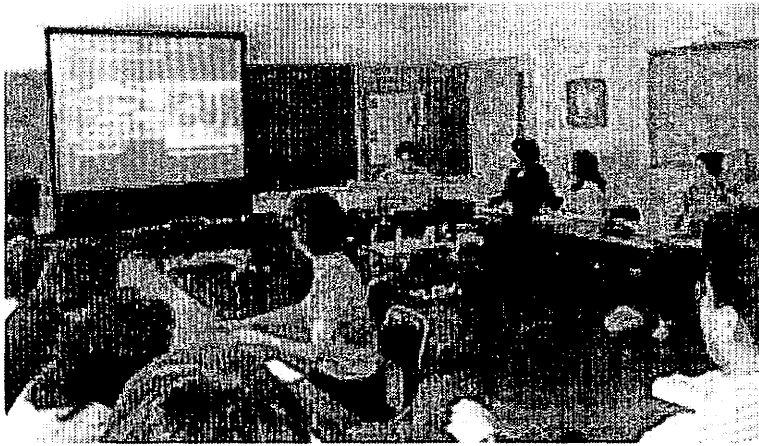
動物と飼育員との日ごろの交流が活かされる時であり、最も信頼できるきずなが発揮されるときでもあります。食べることと排泄することは、命を宿っているものにとって1番大切な基本です。それは人間でも動物でも変わりはありません。日々の生活を正確に観察することが、動物に対する職員の勤めであり愛であると思います。人気者のゾウは、1日に野生で125kg園内で飼育のゾウで90kgくらい食べ、60〜90kgくらいの糞をしま

す。この糞は栄養素が豊富で繊維質と水分が多く含まれています。

これを捨てるのはもったいないのでバイオ発酵させて、有機肥料として、土曜日に来園のお客様(200人)に植木や自家菜園などの肥料にしていただけのお配りしています。

コアラの飼育

コアラには3亜種いて、天王寺動物園にいるのは、体長約70cm、体重9〜10kgくらいが一番大きなヴィクトリアコアラです。コアラは神経質でストレスに弱いので、動物園では監視カメラを設置し、室温も20℃に保っています。1日の食べた量と糞尿の量や回数などもビデオカメラで観察しています。雌雄は別々に住み分けています。ユーカリの葉や芽を主食としていますが、ユーカリの葉は消化



が悪く、毒素が含まれているため、一般に動物の餌として適しません。しかしコアラは、盲腸で発酵させることでユーカリの毒素を分解し、消化吸収することができます。とはいえ、ユーカリの葉は栄養に乏しく活発な行動をするまでエネルギーを得ることができません。このため、1日のほとんどを眠って過ごすことで、エネルギーを節約しているのです。ところで600種類ほどあるユーカリの中で食べられるのは340種ほど。その中でもそれぞれのコアラに

前の葉しか食べないので、手で食べさせたりもしています。

めったに見れないもの・触れないもの

普段、見れないもの・触れないものをお持ちしました。

ゾウの糞：・黒褐色の直径20cmくらいの卵状の物。水分を含んでいると1kgくらいですが、乾燥や滅菌処理をして表面にニスを塗ってあり、軽々と手のひらに乗せて眺めることができます。

よって好みがあり、コアラの口に合うユーカリを見つけてるのがたいへんです。天王寺動物園では12種類のユーカリを委嘱栽培してもらっています。沖縄、内の海、宮崎、牛窓、大阪河南町、堺

キリンの糞：・牛科で胃が4つあり、食べたものは時間をかけて反芻し、消化するので小さなコロコロ状態の糞。

和泉、南港、園内など。天候や災害なども念頭に入れて栽培地域を決めています。

ダチョウの卵：・重さ1500g〜1800g（鶏卵は50gの大きさです）しりとした重さがある。

何か事があつて動物園まで届かない場合は近郊のものや園内ものを与えることになっていきます。子どものコアラの嗜好は親が何を食べていたかで決まります。目の

サイの角：・黒サイの角は三角錐状の形で、ずっしりとした

重さがある。このサイの角は繊維質で髪の毛の一部であり、抜けてもまた生えてくる。が、地元アフリカのサバンナ地方では、この角1本で年収分の収入になるために密猟が盛んで絶滅の危機に陥っている。

ユーカリの木：・生の木の枝5〜6種。コアラの主食。

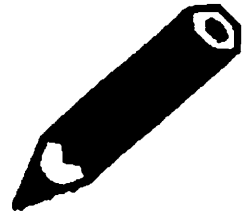
青野さんの動物に対する熱い思いは、仕事の枠を超えた深い愛情を感じたお話でした。

動物園内のガイドは、2カ月前に申し込むと利用できること、〈サロン・あべの〉でも久しぶりに動物園の見学をしたいと思つたひと時でした。

(参加者21名 富田慶子)

は「市民フォーラムおおさか08」の協働事業として参加しています。

50



邦子、 ..ん歳の手習い。

障害者自立生活—りえんさんの場合③—

交通事故により車イスの障害者となったりえんさんが、わずか1年後に自立生活できた要因の1つは、カリフォルニア州に公的な介護保障があったからだといえます。彼女は、最重度障害者だったので、1989年当時で、月額約1200ドル(1時間4.7ドル、1日9時間)の最高額の介護料が州から支給されていました。その介護保障のおかげで、彼女は、介助者を雇い、学生寮で自立生活をする事ができました。介助者

は、大学の障害者学生サービスの介助者照会で探すことができ、主に彼女と同じ学生でした。

彼女は、介助に対して、介助者や母親に「お願いしますとありがとう」の言葉を言います。「当たり前だというのではなく、常に感謝の気持ちをもって、彼女自身が気持ちいいらしいです。しかし、介助者管理については、「介護料を払っているのは自分なので、誰が雇っていて、誰が雇われているかを明確にしなければいけないんじゃないか」。たとえば、介助者が15分遅れた場合、彼女は、雇い主なので、「遅れてきては困るとはつきりいわなければ、ならない」と語っています。

彼女は最初の介助者と良い友達になりすぎて、まあまあ、なানাあの関係になってしまいい、彼女も甘えてしまし、介助者も甘えてしましという経験をしました。その介助者の問題は、毎朝、遅れて来るということでした。りえんさんも介助者に対して、遅れてきては困るとはつきり言えませんでした。幸いにも次の学期から介助者の方からその時間は無理

なので辞めさせてくれと断ってきました。しかし、りえんさんは、「本当は自分の方からいうべきだったかもしれない。彼女の場合、友達関係から介助者になってくれたので、友達としてはとても良かったんだけど、介助者とクライエントとの関係になると、仕事の面で遅れてくるということでもずくなかったです。もう1人の介助者は、最初友達ではなかったし、つまらない人で、面白くないなあ、こんな人辞めさせようかなと思いましたが。しかし、結果的には、彼女は1度も遅れたことはがないし、やつてほしいことはきちりしてくれるし、誰かが遅れると彼女がそのカバーをきつちりとしてくれます。それらの経験から、友達と介助者の違いが分かりました。親友だからいい介助者になれるというのではなく、親友でなくてもいい介助者になれるということ覚えておくことが大切です」と語っています。

彼女は、介助者を使うことは仕事なんだからと教えられました。結果的には、長時間いっしょにいたり、いろいろなことをしてもらい間に、そういう人間関係もだんだん高

まっつていつて、友達になっつていきます。実際、毎晩介助をやっつてくれている女の人は、一緒にいて気が楽なほどのいい友達になっつた」ということだす。彼女の場合、介助という仕事は、完全にビジネスライクではなく、お互いの人間関係を築くことでもあるようだす。

りえんさんは、自立について、「一人で住んで、いろんな人の助けをかりながらも、自分でコントロールして生活していくことが自立生活だと思ふ」と語り、将来は、「社会福祉の大学院に行き、学校の中のカウンセラーの仕事がしたい」とことと、「いろんな所に旅行したい」という夢を語っつてくれました。

(定藤邦子)

ありがとぅございまして。

カンパ、お茶・お茶菓子・著作本の寄贈、またサロングッズのお買い上げなど、ありがとぅございまして。

R・K、カスターネット、安藤れい子、

岩田康二、平岡太、その他の方々。(敬称略)

晴れのち晴れ-122-

稲垣恵雄

□本とパンフレット

本とパンフレット(小冊子)のちがいはただ厚いか薄いかで区別しているのだ、と思っつていた。

ところが先日新聞に「ユネスコの規定では5ページから48ページまでをパンフレットといい、49ページ以上を本という」ということが載っつていた。これまで数回だが本を出版している私にとって誠に知識不足だっつたと忸怩たる思ひである。

1ヵ月ぐらい前に友人のTさんが「むかしむかし大昔の子ども達」という本を出版して送っつてくれた。この本は、大昔の子どもを主人公に歴史物語を通じつて、人々の思ひや未来の人としての姿が詳しく描かれている。そして180ページのごく普通の本だが、内容の濃いものになっつている。

今は読んでいないが、以前に「日々の糧」というパンフレットを読んだことがある。その中の某日にこんなことが書いっつてあっつた。

笑っつて鏡をのぞいたら
鏡の顔も笑っつていた
怒っつて鏡をのぞいたら
鏡の顔も怒っつていた
当たり前だとは
実行しっつていうことだ

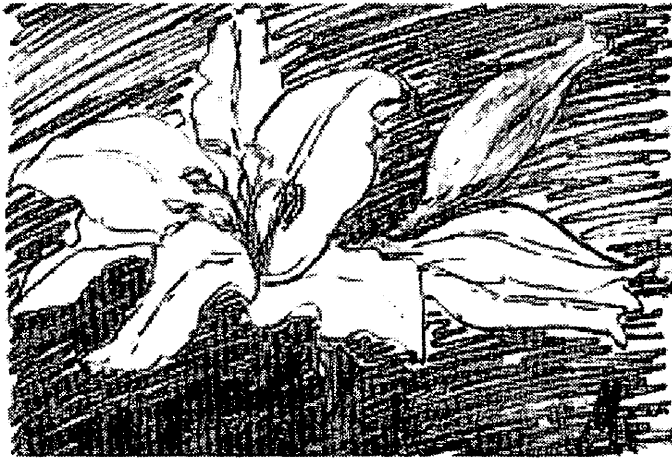
この「日々の糧」はどの日を見てもスナオに領くことができ、教えられるのである。

このようにページ数で本とパンフレットで区別されるが、内容の有無はそんなことには関係ないことが改めて知らされるのである。



悲しみの尊厳と悲しむ権利（下）

自死遺族の会の代表として活躍されていたAさんから連絡をいただいたのは今年の夏ぐら이었다。初めて会うことになり、駅前で待ち合わせをして、私の研究室まで案内したのだが、早足で歩き、やや大きめの声で話すAさんの姿



は、私が新聞で見たAさんの寂しげな横顔の写真とかなり違っていた。新聞記者は意図的に、息子を亡くした母としての悲しげな写真を選んだのかもしれない。あるいは私の自死家族への思いこみが、私に目の前のAさんの姿と新聞記事の写真との距離を感じさせたのかもしれない。かつた。

いや、それどころか、私はふとAさんがなんとなく和服で現れるように思っていたことに気がついた。毛筆を思わせるようなAさんの手紙の筆跡が和服を連想させたのか、それとも喪服の印象がどこかにあつたのかもしれない。

Aさんの横にはBさんという男性がいた。大きなかばんをもって、しゃべり方もテキパキしている感じだったので、「そこにはテレビカメラでも入っているのですか」と私は冗談半分で聞いた。マスコミが出版社の人だと思ったのである。聞けば、Bさんも遺族だという。

こうして研究室まで歩くわずかの時間に、私は自死遺族について自分もついていた多くの先入観に気づくことになった。うなだれて抑揚のない静かすぎる声で話すイメージ、さらに地味

な和服さえ着ているイメージは、どこからくるのだろう。

Aさんによると、全国に自死遺族の会はいくつもあるが、ほとんどの場合、遺族ではない人たちが主催しているという。「遺族にはそんな力はないはず」と思われているらしい。日々、遺族の会の活動に全力をそいでいるAさんなどは、できるはずのないことを無理をしてやっていると思われて、「いまに燃え尽きるよ」という警告を受けることもあるという。

そんなAさんたちが、いま問題にしているのは、遺族を援助しようとする人の姿勢である。精神科医や臨床心理の人たちは「悲嘆の回復」という目標をもって遺族にかかわろうとする。彼らは遺族が悲嘆を乗り越え、回復していくように援助しようとする。その援助の姿勢が自死遺族を苛立たせ、深く傷つけることがあるのだという。

それはなぜだろうか。回復への援助がなぜ遺族を傷つけるのか。「人にはいろいろな悲しみ方がある。それを一律の型に当てはめて、『あなたの回復は、これくらいの段階』などと決めつけないでほしい」とAさんは言う。私は私で前回のこのコラムで紹介した女性を思い出していた。彼女は「自分は救われてはいけない人間なのです」と言っていた。遺族の思いは、安易

な想像を超えたものだと思っ

ただ身体や精神の障害との関連でいえば、それは最新の医療でも完全には無くすることはできない。だからといって障害のある人をいつまでも「治療されるべき何か」を持つている人と見なすことは、障害者の尊厳を傷つけることになるだろう。

悲しみも同様に考えられないだろうか。手術等で取り除くことができない障害があるように、どんなことをしても癒せない悲しみがある。いったい家族の自死のような深い悲しみを、心理療法が何か知らないが、他者が癒せると考えるほうが傲慢ではないだろうか。

悲嘆回復への援助を受けて傷つく遺族は、私には効果のないリハビリテーションの繰り返しによって傷つく障害者の姿に重なるのである。障害が一生残ったとしても、それで人生が絶望的になるわけではない。同様に深い悲しみが死ぬまで残るとしても、それで人生に希望が無くなるわけではないだろう。

障害のあるパラリンピックの選手たちが社会から尊敬を受けているように、深い悲しみを胸に抱いた人たちがそのままで尊敬を受けられる社会にできないだろうか。そのほうが、悲嘆からの回復を強要される社会よりもずっと望ましいのは明らかだと思うのだが。

(知)

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で(サロン・あべの)紙第268号の音訳テープが出来ました。

■音訳テープ文庫

- (a) (サロン・あべの)紙は、第1号より第268号までそろっています。
- (b) (サロン・あべの)十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「(サロン・あべの)平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳DJ)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著＝糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸でんわ音訳DJ)
- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ぼけっと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳DJ)
- (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳DJ)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行編・著＝糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン！」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳DJ)
- (t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博＝糸でんわ音訳)
- (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著＝糸でんわ音訳)
- (v) 富田慶子出演の「ちよっといい話」(朝日放送05.6.26と05.9.18)の録音テープ

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。音訳の後のDJ印はディジー録音。

Mai スウェーデン 留学記 26

ポトラック・ディナー（ウプサラ編）

ヨーロッパは10月26日から冬時間になりまして。日本とスウェーデンとの時差は3月末まで8時間です。留学していた頃、冬時間になると何となく1時間得した気分になって嬉しかったものです。

さて、スウェーデンに留学していて1番良かったのは、「スウェーデン」という1つの国のことだけでなく、たくさんの国からの留学生仲間に出会え、お互いの国のことを理解し合うことができたことでした。まさに異文

化交流！ヨーロッパには「エラスムス」という留学制度があるので、ヨーロッパ内で留学が盛んなのです。ほとんどの学生が留学経験ありといえるのではないのでしょうか。それは、大切なのは「成績が良い」ということだけではなく、様々な国の文化に触れ、視野を広げ、豊かな人間性をつくるということも関係しているように思います。本当たたくさんこの国から集まるので、正直、スウェーデンという国で、世界中の国の人達と出会えるとは想像もしていませんでした。

それぞれの国の文化を知るのに1番わかりやすいのが食べ物です。だから留学中は、「料理を持ち寄ってのパーティー」が1番多かったように思います。それはウプサラでの2カ月の生活の中でも、サマーコースの行事の1つとしてありました。ヴェクシヨーでも寮生活の中で多国籍の仲間と毎週のように「各国の料理パーティー」プランを立てて、楽しい思い出を作ったのですが、今月はウプサラでの異文化交流会だけ紹介します。

英語で「ポトラック・ディナー」と呼ばれるこのパーティー、意味は手料理を持ち寄っ

て、みんなで食べるということです。ウプサラのサマーコースは短期でスウェーデン語を学ぶものでしたが、それこそ世界中から参加しています。ヨーロッパ各国をはじめ、韓国、アメリカ、日本・・・スウェーデン語を本気で学びたい人、スウェーデンで働きたい人、大学でスウェーデン語を学んでいる人、親戚がスウェーデン人の人、異文化交流したい人・・・参加者の参加理由は様々です。その中で、お互いの国を理解するように与えられた1つの行事に、このポトラック・ディナーがありました。この条件はただ1つ。「自分たちの国の食べ物を作って学校へ持って来なさい」ということでした。

学校の授業が終わったのは夕方。パーティーの時間まで数時間しか残っていないので、そんなに手間のかかるものは作れません。かなり前からこのパーティーに何を作っているかと他の日本人の参加者と相談していました。結局私は同じ大阪から来ていた人と一緒に「お好み焼き」を作ろうということになり、授業が終わってすぐに、準備にとりかかりました。ちなみに、作るのは寮のキッチンです

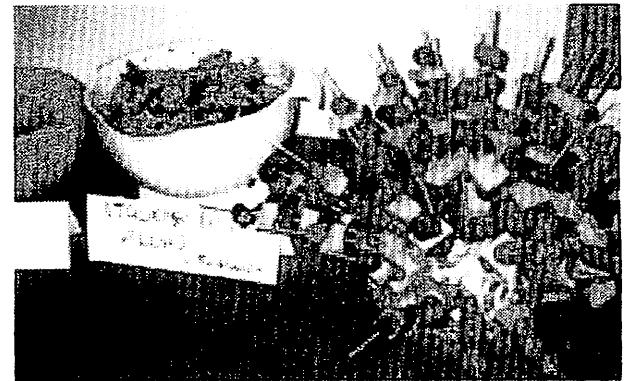
が、学校は徒歩30分離れた場所なので、料理もそのまま歩いて運ばなければなりません。匂いもするので、道を歩いている人にかかなり振り返られたり、何を持って



お好み焼きを作りました。他には、肉じゃが、おにぎり、抹茶入りクッキー、味噌汁など・・・どれも好評だったようです。



スウェーデンの料理の1つ。名前はスモーグス・トータ。大量のマヨネーズを使い、海老をたくさんせる料理です。



イタリアの料理。イタリアのお料理は、チーズやきゅうり、オリーブの実をつきさした、お酒のおつまみのものとハスタでした。

ているのか見ようとされたり、まさに注目の的でした。

もちろんお好み焼きの材料も、日本から持ってきていたので、青のりも鰹節もお好み焼き用のソースまで完璧に揃っていた私達は、ものすごい自己満足に浸っていました。ちゃんと「ヤパンスカ ピッツァ」ジャパニーズ「ピザ」という名前までつけて・・・。

パーティーの開始時間ぎりぎりに学校に到

着すると、会場となった教室には、キレイに並べられたお料理の数々。それはその国の特徴をあらわしていて、見ていただけでも楽しいものでした！

それぞれにたくさんのお料理をお皿に少しずつ盛っていきます。アメリカ人のクラスメイトが美味しいケーキをたくさん作ってくれていたの、デザートまであって、本当に本格的なものとなりました。どれもが美味し

い

い・・・それぞれの国の味を一気に味わうことができ、楽しい思い出となりました。韓国の友人が作ったお料理は、日本に似ていて、日本と韓国の近さを改めてお互いに理解し合

ったものでした。以前から日本料理にとっても興味津々の参加者達。「楽しみにしているの」と言われていましたが、あつという間に、なくなってしまう

って驚いてしまいました。「美味しかった」と

感想を言ってくれるのが嬉しかったり、また、こんなにも「日本食」というものに興味を持っていてくれる人が多かったことに驚いたり・・・それから他の国に行くときによく注意してみると、意外に寿司レストランや日本食レストランが多いことに気づきました。漫画、音楽など今の文化がヨーロッパの人達に注目されているのだと気づかされました。

日本にいとよくわからなかった他の国の人から見る日本観。一歩外に飛び出せば、彼らの考えが本当によくわかります。それが面白かったり、固定観念で見ていることに気づいて、戸惑ったり・・・でもそれはきっと私達も他の国を見るとき、固定観念で見ているのと同じですね。「スウェーデン」と聞いて、何を思い浮かべるでしょう？「アメリカ」と聞いて、どんな国を想像しているのでしょうか？ じゃあ、韓国は？ 中国は？・・・と言いつつキリがないのですが、私がここで学んだことは、固定観念で見ないことです。食べ物も多種多様、そして、

人間も多種多様です。「スウェーデン人はこうだ！」とか「ドイツ人は・・・」とか言えないです。この地球上にはいろんな文化があり、いろんな人間が住んでいます。すべてを理解することはできないですが、少しでも共感できたらいいと思います。もし機会があるのなら、まずはその国の食べ物を食べてみるのもその国がどういうものであるのかを知るきっかけになると思います。よく、せっかく日本を飛び出して外国に出かけているのに、日本食レストランを必死で探す人もいることを耳にします。食べ物から異文化交流が始まるきっかけができるのに、とても残念です。

「日本が1番」ではないです。それぞれの国の良さを知り、新しい発見をすること、お互いの違いを認め合い、価値観を共有すること・・・私にとって、ウプサラでの初めてのポトラック・ディナーは多くのことを心に刻み込んでくれました。もちろん、この行事を企画してくれたサマーコースのディレクターと学生スタッフには感謝しています。タック！

(清原 舞)

お知らせ

<サロン・あべの> 12月の出会い

内 容…イタリアンで年忘れ昼食会
 日 時…12月6日(土) 午後1時～3時
 場 所…クッチーナ ベッリーナ
 (CUCINA BELLINO)
 大阪市阿倍野区阪南町2-1-35
 TEL 06-6621-8127

集合時間…12時30分
 集合場所…阿倍野Hoopイベント広場
 会 費…2500円
 予約締め切り…11月28日(金)
 問い合わせ・予約申し込み先…
 TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



12月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

■「サロン淀川」12月の出会い

日時：12月21日（日）午後1時30分～4時
内容：人と、人とのつながりを大切に
～手作りから始まるコミュニケーション～
ゲスト：淀川区シルバーボランティアグループ
手作り遊びグループ

会費：なし
場所：淀川区民センター「やすらぎ」
大阪市淀川区三国本町2-14-3

問い合わせ先：淀川区社協（ボランティア・ビュー
ロー）☎06-6394-2900
E-mail：sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にしよど」12月の出会い

日時：12月20日（土）13時30分～15時30分
内容：モンブランのクラリネット演奏とビンゴ
ゲームのクリスマス会
サロン・にしよど恒例のクリスマス会で
今年1年を楽しく締めくくりましょう。

ゲスト：モンブランの皆さん
会費：なし
場所：西淀川区在宅サービスセンター
「ふくふく」
大阪市西淀川区千舟2-7-7
☎06-6478-2941

会費：なし
問い合わせ先：中本 ☎090-9864-9678

■「サロン「アイ」12月の出会い

日時：12月13日（土）午後1時30分～4時
内容：恒例のクリスマス会
（手品・ちぎり絵・ビンゴゲーム）

出演者：合田亨史氏・ごうだあい氏
会費：なし
場所：生野区在宅サービスセンター
「おかちやま」2階ボランティアルーム
大阪市生野区勝山北3-13-20

問い合わせ先：生野区社協（ボランティア・ビュー
ロー）☎06-6712-3101

○お知らせ：サロン「アイ」だよりの音訳テープが
出来ます。ご希望の方は、西浦まで。
☎06-6757-8574

■「サロン・にし」12月の出会い

日時：12月13日（土）午後2時～4時
内容：紙粘土でクリスマスグッズを
作りましょう！

会費：なし
場所：西区在宅サービスセンター
「にしながほり」
大阪市西区新町4-5-14
☎06-6539-8075

問い合わせ先：宮脇淳 ☎090-3949-6973

■《てくてく・すみよし》12月の出会い

日時：12月13日（土）時間は未定
内容：忘年会兼クリスマス会
場所：あびさんサロン
大阪市住吉区我孫子3-10-16

会費：未定
申し込み・問い合わせ先：
山本篤江 ☎06-6692-8411
携帯090-5168-5977

■「サロン・つるみ」12月の出会い

日時：12月7日（日）午後1時30分～4時
内容：どんぐりを使ってかわいいマスコット作り
*どんぐりやまつぼっくりなどの持参大歓迎
場所：鶴見区民センター3階
会費：300円

問い合わせ先：鶴見区社協（ボランティア・ビューロー）
奥井 ☎06-6913-7070

■「サロンいたみ」12月の出会い

日時：12月6日（土）午後2時～
内容：クリスマスコンサート
女性コーラス
「アンサンブル・クリスタル」

場所：伸幸苑 [伊丹市寺本6-150]
会費：なし
問い合わせ先：安藤れい子
☎072-784-1718

美智子のこんな話

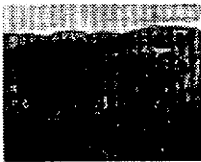
岸田美智子

給料上がったけど損しちゃった!

障害者自立支援法は、来年度見直しになっていますが、現在のところ抜本的な見直し改革や廃止案ほどの党からも出ていません。元々多くの障害者団体の反対を押し切って郵政民営化のどさくさにまぎれて成立したこの法律でした。その1番の問題点は、障害者の収入能力に関係なく応益負担が導入されたことです。ホームヘルパーなど、福祉サービスも使えば使うほどその自己負担も多くなっていく仕組みです。それゆえに重度の私のような障害者になればなるほど自己負担も大きくなっていく考え方です。でも、全国的な障害者運動から批判を受け、現在では、その負担上限額が8分の1に軽減されてきています。私の場合、毎月ホームヘルパーの時間数を使いきっても上

限額は3000円負担となりました。この負担額も今月までの私の給料や障害基礎年金などを合わせても生活保護の基準限度額以下だったため、境界層減免の制度を利用して全額免除されていました。そして今年も何気なく申請手続きを済ませましたが、なんと却下されてしまいました。なぜだと思いい区役所に聞いてみると給料が毎月平均1500円UPになっていくからだそうです。私自身は上がったことにすら気付いていなかったのですが(厚生年金の掛け金が上がったりしているので実質1000円程度のちがいで)、私の収入源は本当に境界層すれすれの額だったのだと実感しました。というわけで給料の基本給1500円UPのために毎月3000円の自己負担が、来月から決定してしまいました。応益負担の課題を今後毎月より一層感じるようになると思うし、ヘルパーさん達や健常者がよくいつていた税金の仕組みや負担のあり方の問題をしみじみ感じています。その上で障害者側の応益負担の考え方をもう1度考えてみようと思っている日々です。給料は上がればいいというものではないとしみじみばやいてる今日このごろです。皆さんはどう思われますか?

寄りみち



■童謡♪絵はがき・春の小川。この歌の小川は、東京都渋谷区代々木に流れていた河骨川(こうほねがわ)がモデルで、昭和39年の東京五輪の工事で暗渠となってしまいました。国文学者の高野辰之はこのあたりを散歩し、川辺の情景を見ながらこの詞を書いたと伝えられています。ところで、現在歌われている歌詞は、文語体で書かれた当初のものとは異なり、昭和17年に子どもに分かりやすいようにと口語体に改作されたものです。改作版は今日すっかり定着しています。時に応じて語句や語調を変え、子どもに受け入れやすくする。こういった工夫も、もしかすると童謡の魅力を維持していくためには必要なのかもしれません。(石)

<サロン・あべの>VOL. 269 発行:平成20(2008)年11月15日 定価¥100
 編集人:<サロン・あべの>運営委員会 表題:中西利香・筆 文中イラスト:石田美禰子
 事務局:〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座:サロン・あべの 00950-9-26941
 印刷:セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212
 ホームページ: <http://pweb.sophia.ac.jp/oka/salon/> 「サロン あべの」でも検索できます